

# 群馬菱の実会だより

## 第50回(冬季)グラウンドゴルフ大会 根岸利喜蔵さん 優勝

冬季グラウンドゴルフ大会が去る2月18日(月)利根グラウンドゴルフ場で19人の参加で行われました。今回の大会は通算50回目の記念大会で、厳寒の中、赤城コース、榛名コース、赤城コースの24ホールで熱戦がくりひろげられました。結果は、根岸利喜蔵さんが実力を発揮し優勝カップを手に入れました。尚、次回の春季大会は、5月26日(月)を予定しておりますので、皆様の参加をお待ちしております。

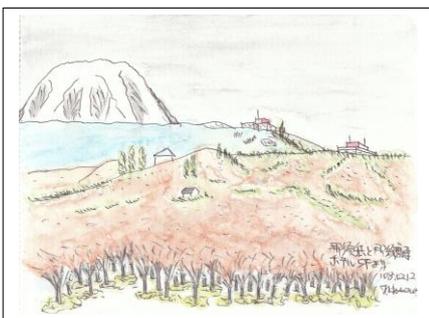


順位	氏名	HD	スコア	1打	2打
優勝	根岸利喜蔵	4	65	0	13
準優勝	久保田 舜	3	67	1	12
3位	田部井秀夫	5	67	0	12
4位	高橋 勝美	1	67	0	11
5位	斉藤 慶蔵	2	69	0	9
6位	島 保夫	0	69	0	8
7位	長嶺 元	7	70	0	11
8位	宮田恭之	0	70	0	5
9位	根岸佳代子	3	71	1	4
10位	柳沢勝利	5	71	0	9

## 幹事の研修旅行記 (真冬的那須高原、耐寒体験研修)

2月12、13日幹事とカラオケ会の皆さんで実施。ゆったり旅でご当地10時出発。天気は上々、車中にぎやかな会話と、「漢字の読み方や地理のクイズ」で楽しみながら那須高原へ。しかし昼食後、この冬一番の寒波襲来で天気が急変、那須温泉神社見学の頃から雪さでそそくさと切り上げホテル入り。夜には皆さん元気になってさあ宴会、宴が進むにつれ自慢のカラオケも披露し、楽しく過ごされました。

翌日も朝から雪、雪がやんでも強風になり塩原の大吊り橋渡りは無理とのことで2日目の行動は大幅変更。さらに変わったバスの暖房が効かなく防寒衣を着ている始末。みんな寒さで困惑でしたがそこは皆様ご理解が良くビンゴや元気な会話で乗り切りました。又運転手が見学場所を増やしたり高速道を少なくし費用を節約したり懸命のサービスで救われた旅でした。



那須岳と那須高原  
(宿舎5Fより)  
スケッチby細野



近年最大級の寒波到来の日、那須高原の宿舎前にて

### 訃報

奥田 文一さん(さいたま市大宮区 享年93歳)は、1月16日ご逝去されました。ご冥福をお祈りすると共に、お知らせします。

## シリーズ・『同期会』

貴様と俺とは同期の桜 / 同じ馬電の庭に咲く /  
咲いた花なら皆同じ / たまには会おう同期会

同期会を結成して、いろいろ親睦を深めているグループがあります。これからシリーズで、その同期会の情報を掲載していきたいと思います。ぜひ情報をお寄せ下さい



### ① 「三山会」の紹介

三山会は菱電機器が創業された、昭和34年に一期生として入社したグループの会です。当初男女110名いた社員も結婚等で徐々に減少、会の発足時は38名になっていました。会社生活の中、同期の横のつながりを大切にしようという声があがり、最初はゴルフコンペ、年に1回の新年会で親睦を深めていました。その後、初代会長石関さんに慶弔を兼ねた会則の原案を依頼、上毛三山の名を借りて三山会と命名して発足しました。会の行事は、3回／年。新年会(1月)、総会(4月)、暑気払い(8月)、特に総会は1泊温泉旅行で人気が高く、夜の宴は盛り上がりも大変なものです。

時が経ち、会社生活も短く見えた頃、奥様同伴で行事を楽しむようになってきました。旅行も、九州、海外でタイへ行って来ましたが、奥様同志も和気合い合いと有意義な旅でした。

来年(09年)は、発展を続ける中国旅行を計画しています。今から楽しみです。最後に03年10月に会員の内田造園の計らいで退職記念樹「百日紅」を営業の東側に植樹しました。

夏には美しい花が咲いています。機会があったらご覧下さい。

これからも健康維持につながる事柄を行事に取り入れながら、会員相互の結束を計って参ります。



### 平成20年度 菱の実会総会のご案内 (予告)

平成20年度の総会は、4月22日(火)開催の予定で、準備を進めております。詳細は、次号でご案内いたしますので、あらかじめご予約くださるようお願いいたします。

## 【 会員投稿 】

### 人名（名前）のいろいろ

川柳創駄郎

何年か前に子供達の間、「寿限無」という落語が流行りました。（寿限無は、生まれた男の子に寺の住職が長い名前をつけたことによるおかしみが狙いの話です）親としては、良い名前を付けたい一心で長くなった名前です。10年位たちますか、子供に「悪魔」と名づけて役所が受け付けなかった。理由は、役所は苛めを受ける、親は一度覚えてもらえれば忘れないという。

最近落語ブームで襲名ラッシュです。9代目林家正蔵に05年3月に林家こぶ平が襲名。6代目林家小さんに06年9月に柳家三語楼が襲名。2代目林家木久蔵に07年9月に息子のきくおが襲名（初代は木久扇を名乗り、初の親子ダブル襲名）。2代目林家三平には、09年9月に林家いっ平が襲名予定です。ビックな襲名によって名前を世に残していこうということでしょう。

一方地名で恐縮ですが、新太田市が誕生の時に、太田・新田で争ったようです。

敗れた新田は、歴史ある名のため「新田〇〇町」として名を残しました。旧尾島内でも、南ヶ丘町、すずかけ町と新しく認定されております。富士重工群馬製作所内に「スバル町」もあります。人々のそれぞれの考え方、思いが伝わってくるようです

前置きが長かったようですが、本題は有名人のペンネーム、芸名の思いと、名に纏わる事柄を書いてみたいと思います。私は「川柳を 創れど創れど 駄作が多い」ということで「川柳創駄郎」と付けられましたが、今は名付け親に怒っております。なんですか？（ここで私情をだすな）ですって、スママセン。

人名は敬称略とします。カッコ内が本名です。

●阿佐田哲也(色川武大)・・・夜通しの麻雀で「朝だ、徹夜だ」ということから。麻雀放浪記→真田広之、大竹しのぶ出演で映画化。終戦直後のどさくさの時代を背景に、非情なギャンブラー達の闘いと友情をハードボイルドタッチで描く

●石川啄木(工藤一)・・・啄木は、啄木鳥(きつつき)のことで、故郷で聞いたキツツキの音に心慰められたことから。

●江戸川乱歩(平井太郎)・・・アメリカの小説家エドガー・アラン・ポーに私叔してもじったもの。私叔(ししゅく)→直接に教えを受けてないが、その人を慕い、その言動を模範として学ぶこと。「屋根裏の散歩者」「人間椅子」等。日本の探偵小説の基礎を築いた。

●島崎藤村(春樹)・・・松尾芭蕉の句に出てくる藤(ふじ)の花にちなんだものという。また北村透谷(とうこく)の「透」と「村」をもじったものともいわれる。北村透谷→明治期の詩人、評論家。小田原藩医の家の生れ。藤村自身が北村透谷に傾倒した。「破戒」「夜明け前」など。

●司馬遼太郎(福田一)・・・中国歴史家の司馬遷(しばせん)に遼(はる)かに及ばないということから。「竜馬がゆく」「功名が辻」「峠」等。過去にNHK大河ドラマに使用された著書が多い。

●直木三十五(植村宗一)・・・植村の「植」の字を分解して直木とした。三十一歳で執筆をはじめた時に直木三十一(さんじゅういち)として、それから一年ごとに数を増やしていった。三十五歳の時に執筆活動に専念するようになったため、以後はその名で固定した。「南国太平記」。

直木賞→1935年芥川賞と同時に直木三十五の名を記念して文芸春秋社長菊池寛の創設した大衆文学賞。新進作家の文壇への登竜門とされる。参考:「芥川賞」太陽の季節(石原慎太郎)、「直木賞」鉄道員(ぼっばや)(浅田次郎)等。

●夏目漱石(夏目金之助)・・・負け惜しみが強いことをいう。「石に漱(くちす)ぎ流れに枕(まくら)す」から。晋(しん)の孫楚(そんそ)が「石に枕し、流れに漱ぐ」というべきところを誤って「石に漱ぎ流れに枕す」といつてしまったが、とがめられても間違いを認めず屁理屈(へりくつ)を並べてごまかしたという故事から。「さすが」を「流石」と書くこともこの故事による。

「坊ちゃん」「三四郎」「明暗」「草枕」「こころ」等。「明暗」「草枕」等は読んでも難しいと思いますが、「坊ちゃん」は今でも人気があり、小学生に読んでもらいたい一冊です。

07年11月15日付読売新聞、「編集手帳」より

(お手軽に読める“ケータイ小説”対極の書とでも言うべきか。夏目漱石の「坊ちゃん」の自筆原稿を写真版で完全収録した「直筆で読む」坊ちゃん・・・中略。「手書き」の本を味わい、デジタルからアナログに思考回路を切り替えても・・・)と。進化しても戻る事もあるようです。

< 次号に続く >

## ◇ おしらせ ◇

		日時	場所	申込み、その他
1	3月の 囲碁愛好会 (19年度囲碁大会)	3月10日(月) 9:30～ (16:00)	赤城倶楽部 (会費 1000 円)	3月9日までに 窪田秀治(0276-25-7158) 星野安正(0270-74-2064)
2	3月の麻雀会	3月13日(木) 3月27日(木) 9:30～17:00	赤城倶楽部 会費2000円	申込み3/10(月) 20日(木) 下山國夫(0277-78-3204) 荒井昭三(0276-52-0803)
3	3月 グラウンドゴルフ 例会	3月17日(月) 9:30～ (集合 9:15)	利根グラウンド ゴルフ場 (会費:無料)	希望者は直接会場へ (雨天中止)
4	ゴルフ愛好会例会	4月3日(木) プレー費 5700 円 参加費 1000 円	上武ゴルフ場 8:31スタート 集合8時	萩原(56-3852) 関根(31-8410) 川口(56-2678) 長谷川(0270-74-2056) 締切り 3月15日
5	4月の パソコンサークル	4月7日(月) 13:30～15:30	労組事務室	ご自由にご参加ください
6	4月の カラオケ月例会	4月7日(月) 17:30～20:30	カラオケ本舗 「まねきねこ」 0276-52-3450	申込み:3月28日(金)まで 佐藤辰利(0276-52-4688) 大橋 浩(0276-52-3866)
7	編集委員会	3月17日(月) 13:30～	組合会議室	都合の悪い場合は、事務局ま で忘れずにご連絡ください。
8	幹事会	4月1日(火) 13:30～		
9	【ボランティア】 会社前道路の清掃 2月4日(月) 幹事の皆さんで実施いたしました。			



## 編集後記

いつも「菱の実会だより」をご愛読いただきありがとうございます。  
 毎回編集しながら、皆さんの元気をもらっています。趣味に、スポーツに、・・・地域社会で、ボランティア  
 で・・・、各方面で皆さんの元気に活躍されている様子が伝わってきます。  
 限られた誌面ですが、「元気の出る会報」を目指して、これからも皆さんの「元気」をいろいろな形にして  
 お届けしていきたいと思っております。皆さんの元気な情報をどしどしお寄せください。  
 なお、前号でご案内の通り、誌面で伝えきれない情報や、ためになる情報を、インターネットのホーム  
 ページでお届けしておりますので、こちらもぜひご覧くださるようお願いいたします。

＜篠崎 辰夫 記＞

発行 2008-3-3 No.179

発行責任者 長嶺 元

編集：「菱の実会だより」編集委員会

三菱電機労働組合群馬支部

〒370-0492 群馬県太田市岩松町 800

TEL 0276-52-3874 Fax 0276-52-3207

菱の実会だよりホームページ アドレス <http://www18.ocn.ne.jp/~hishimig/>